

題材名	<p>「この絵、どうなる? ~瑛九の作品をみて想像しよう!~」【鑑賞】 作品:《青の中の黄色い丸》 瑛九 1957-1958年 他</p>		
ねらい	<p>○瑛九の作品のよさを味わいながら、感じたことを伝える。 ○絵をみて次の展開を想像しながら、作品の空間やストーリーを楽しむ。</p>		
内容	<p>導入:【美術館紹介】 み:【対話による鑑賞】絵の中で起きていることや音などを想像する。 表:【音や動きで表現】絵の次の展開をグループで想像して、身体の動きと音で表現する。 知:【瑛九の挑戦】画家の制作方法の変遷について知る。</p>		
時間	活動	留意点(※)	準備
: ~		<p>※場の設定例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施する教室の窓をカラードタックで演出する。</li> <li>・作品の大きさがわかるように、床にビニールテープを貼る。(259×181cm)</li> </ul>	<p>□モニター □書画カメラ □長机(材料置き) □子供:教科書 筆記用具</p>
: ~	<p><b>導入:【美術館紹介】3分</b> 近代美術館を紹介する。 「美術館って何があるところかな?」 「美術館も作品です!」「椅子もあるよ!」</p>	  <p>「これ、なあ〜んだ?」</p>	<p>□近美写真 □マリリン写真</p>
: ~	<p><b>み:【対話による鑑賞】15分</b> ○瑛九の作品(複製画/パネル)を全体で鑑賞する。 「何が描かれているだろう?」 「何にみえる?」 花、豆、おはじき、花火、宇宙、煙、目玉、たまご… 「どんな音がきこえてきそう?」 ドーン! パチパチ ジャリジャリ 無音 「どんな出来事が起きていると思う?」</p> 	<p>※まずはじっとみる時間をとる。</p> <p>※どの答えも間違えではない、思ったことや感じたことを伝えることが大切であることを伝える。</p> <p>※子供の気付きや感じたことから鑑賞を進めていく。</p> <p>※五感を使って考えられるように促す。特に、音について考えを広げていく。</p>	<p>□パネル □イーゼル □複製画/パネル</p>
: ~	<p><b>表す:【音や動きで表現】15分</b> ○絵が動いたらどうなるか想像し、身体の動きや道具を使った音で表現する。 「絵が動いたら、どんな動きだと思う?」 うねうね くるくる ほんほん ぼわ〜 らわわ</p> <p>○班ごとに発表する。 「選んだ作品はどれでしょう?」 発表をみる側は、その動きや音がどの作品を表しているのか考える。</p>	<p>※事前に5~6人の班に分けておく。</p> <p>※3点の作品の中から1点に絞って表現を考える。(他チームに内緒!)</p> <p>※班の中で、身体の動きで表現する担当と音を出す担当を決める。</p> <p>※材料は、切ったり貼ったりするなど手を加えずに出来ることを考える。</p> <p>※発表後にどの作品か、他の班の子供に考えさせるが、どのように感じたか、それぞれの思いを知ることが重要であり、正解を出すことが目的ではないことを伝える。</p>	<p>□表現に使う道具・材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙類(お花紙、片段ボール)</li> <li>・ビニール袋</li> <li>・リボン</li> <li>・ビニール傘</li> <li>・缶</li> <li>・ボール 等</li> </ul>
: ~	<p><b>④知る:【瑛九の挑戦】8分</b> ○複製画/パネルで他の作品をみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な作品をつくっている</li> <li>・色々な道具で挑戦している</li> <li>・色々な活動をした人</li> </ul>	  	<p>□複製画/パネル</p>

<p>～ : : :</p>	<p>○瑛九の制作や生き方について知る。 「なぜいろいろなことに挑戦したのだろう？」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>瑛九はこんな人… 本名：杉田秀夫（1911～1960）48歳没 画家だけど、油絵に自信がもてなかった。 絵のヒントにするために、写真や版画など、様々なことに挑戦する。 絵筆の代わり、写真の代わり…新しい表現に出会っても長くは続けず、表現を追い続け、 晩年にやっと自分の油絵表現で大成。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>絵や工作が苦手でも便利なものが補ってくれる時代、アイデアはかたちにして伝えることができる。しかし、どんなに便利になっても、自分の眼で美しいものや面白いものを発見したり、考え続けたりすることが大事ではないか。</p> </div>	<p>※作品の大きさを、床に貼ったビニールテープの四角形で示す。</p>	
<p>: ～ :</p>	<p>まとめ：4分</p>		
<p>実施日時</p>	<p>年 月 日 ( ) 準備開始 : ~ 2校時 : ~ : 組 名 3校時 : ~ : 組 名 4校時 : ~ : 組 名</p>		
<p>場 所</p>	<p>学校 会場 ( )</p>		
<p>人 数</p>	<p>年生 クラス 名+ 名</p>		
<p>進 行</p>	<p>美術館：</p>		
<p>当日準備</p>	<p><input type="checkbox"/>複製画/パネルをイーゼルに設置し、布で隠す <input type="checkbox"/>音を出す道具や材料のコーナーをつくる <input type="checkbox"/>作品の大きさがわかるように、床にビニールテープを貼る。(259×181cm)</p>		
<p>事後学習</p>	<p>・活動の感想を書く。 ・他の作品を鑑賞して、身体表現や音で表す。 等</p>		